



オーストラリアの環境教育についての論文

オーストラリア図書館では以下の論文を含め 1,000 以上の論文を所蔵しており、サイト上での論文検索も可能です。日本国内であればコピー送付もおこなっています(但しコピー代、郵送費は利用者負担)。詳細は：<http://www.library.australia.or.jp>

タイトル	発行日	著者
オーストラリアの環境教育について	1999/6/17	高田 真紀子
オーストラリア 発展著しい多文化主義教育 環境教育についての章が含まれている	1999/2/1	笹森 健
日本におけるジュニア・ライフセービングの教育プログラムに関する一試案	1999/1/8	遠藤 大哉
ビクトリア州(豪州)における環境教育	1996/10/1	笹森 健
オーストラリア環境教育シンポジウム	1995/11/25	オーストラリア環境教育研究会
オーストラリアのウラン産業 1994 年回顧	1995/2/1	動力炉・核燃料開発事業団
オーストラリアにおける環境教育	1994/3/20	笹森 健
オーストラリアにおける環境教育の社会科学教育的考察	1990/3/31	山本 友和



書籍紹介：『生命の大地 - アボリジニ文化とエコロジー』

デボラ・B・ローズ 著 保効 実 訳 平凡社 刊 2003年(近刊)

この原稿を書いている 1 月 20 日現在、オーストラリアの首都キャンベラは、地域史上最悪の森林火災の恐怖におびえている。すでに 400 軒を超える家屋が焼け落ち、数千人が避難生活を余儀なくされているのである。オーストラリアの歴史を紐解けば、山火事がもっとも頻繁で深刻な自然災害であることがすぐにわかる。18 世紀末にイギリスによって植民地化が開始されて以来今日にいたるまで、オーストラリアは火を管理するすべをいまだに見出せていないのだ。

大きな山火事がおこるのは、誰も適切な野焼きをしなかったために、カントリーが病気になったからだ。

これは、『生命の大地』に引用されているアボリジニ自身によって語られる言葉のひとつだ。本書は、アボリジニの人々によって維持されてきたエコロジー思想・活動を、一般の読者にも分

かりやすいように紹介した作品である。アボリジニ社会に関心をもつ人にとっての格好の入門書だといえるだろう。

『生命の大地』は、多くの人々もつアボリジニ社会についての常識・誤解に挑戦しているが、そのなかでも「アボリジニは自然に寄生しているだけで、自然環境に働きかけることをしなかった。」という見解を完全にくつがえしている点はとくに重要である。詳細な知識と熟練した技術によって、定期的になされた野焼きによる土地管理活動(これを『燃える木農業』と呼ぶ人もいる)があったからこそ、オーストラリア大陸の生物多様性(バイオダイバーシティ)は維持されてきたのであり、また、管理不能な山火事も生じにくかったのである。現在オーストラリア各地で深刻な山火事が頻発しているのは、こうした習熟した知識が急速に失われ、管理された野焼きの習慣がなくなりつつあるからにほかならない。

ローズは、アボリジニ自身による詩歌や発言をふんだんに引用することで、アボリジニの人々が自分たちのカントリーを愛し、歌い、讃え、憂え、語りかけ、慈しむ姿を鮮やかに描き出している。その地平に見えてくるのは、人間と自然環境との「和解」という、21世紀的課題である。

【保刈 実(ほかり・みのる)日本学術振興会特別研究員】

原著 “Nourishing Terrains: Australian Aboriginal and Wildness”

この翻訳出版は、豪日交流基金 サー・ニール・カーリー助成プログラムが助成しています (<http://www.ajf.australia.or.jp/sirneil/>)。

その他の参考文献

Education and The Environment - Policy, Trends and the Question of Marginalisation
Australian Education Review No.39

アネット・ゴフ 著 ACER Press 刊 1997年 (英語文献)

過去20年間にわたって発展を遂げた環境教育分野を取り上げている。“環境教育という分野はどこからやってきたのか”、“すでにどんな研究がおこなわれているか”などについて議論するのに役立つ大変貴重な一冊である。

Outdoor and Environmental Studies: VCE Unites 1 to 4

アネット・ゴフ、ジュリー・ブラック、ジョン・ギアリー、キャサリン・ブレザンツス 共著

Social Science Press 刊 (英語文献)

本書はヴィクトリア州の高校で教科書として使われている (VCE ヴィクトリア州資格試験対応)。学生は本書を通じて、人間と自然環境との関係、人間が自然に/自然が人間に与える影響、オーストラリアの野外環境がどのように発展し、またどのように人間によって認識・管理されているのか、そして対立を解決し生態的に持続可能な開発を達成できる政策や実施策について探る。

http://www.vcaa.vic.edu.au/VCE/STUDIES/PDFs/Study_Designs/OutdoorEnviroSD.pdf

にて閲覧可能。